

食品の表示と安全性の動向

-開催趣旨-

昨今、食品をとりまく環境はめまぐるしく変化しており、消費者が日々の食生活から健康維持を図るためには、食品を安全に摂取できると共に、自主的・合理的に食品を選択できることが必要となります。

このような状況下、食品衛生、食品表示及び健康増進に関する基準・指針は、消費者の健康保護に資する為、継続的な見直しや改正が行われています。

そこで今回、日本食品化学学会では、「食品の表示と安全性の動向」をテーマとして、栄養成分の摂取と分析方法、添加物のリスク評価、機能性表示食品及び食品表示法の最新動向に関するシンポジウムを開催し、新しい基準・指針への理解を深め、今後の対応を考えていく場にしたいと思います。

-プログラム（予定）-

13:00- 受付開始

13:30-13:35 世話人挨拶 小川久美子（国立医薬品食品衛生研究所 病理部）

シンポジウム1 食品栄養成分の考え方と安全性評価

座長：佐藤 恭子（国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部）

13:35-14:10 講演① 栄養成分関連添加物について

三重大学大学院医学系研究科 公衆衛生・産業医学分野 森田明美

14:10-14:45 講演② 栄養成分表示のための分析方法に関する最近の話題

国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 竹林 純

14:45-15:20 講演③ 食品添加物—特に栄養成分・加工助剤・酵素のリスク評価について

国立医薬品食品衛生研究所 病理部 高須伸二

15:20-15:35 休憩

シンポジウム2 食品表示の最新動向

座長：穂山 浩（国立医薬品食品衛生研究所 食品部）

15:35-16:15 講演④ 機能性関与成分の表示と機能性表示食品

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 合田幸広

16:15-16:55 講演⑤ 食品表示制度の現状と今後について

消費者庁 食品表示企画課 赤崎暢彦

16:55-17:00 閉会挨拶 手島玲子（日本食品化学学会理事長）

- 主催：日本食品化学学会
- 共催：（公社）日本分析化学会 表示・起源分析技術研究懇談会
- 後援：東京電機大学
- 日時：2017年10月13日(金) 13:30-17:00
- 場所：東京電機大学 千住キャンパス1号館（1F）100周年ホール
- 定員：150名/事前登録にて受付し、定員になり次第、受付終了と致します。
- 参加費：当日支払のみ/主催・共催団体の会員（個人・団体）3,000円、非会員5,000円
学生 無料（事前登録は必要です。当日、学生証の提示をお願いします。）
- 申込み：日本食品化学学会 HP の「登録・お問合せ」の画面よりお申込ください（受付実施中）。

アクセス： 東京電機大学 千住キャンパス（東京都足立区千住旭町5）

北千住駅 東口（電大口） から徒歩 1 分

- ・JR 常磐線
- ・東京メトロ日比谷線
- ・東京メトロ千代田線
- ・つくばエクスプレス
- ・東京スカイツリーライン（東武伊勢崎線－東京メトロ半蔵門線乗入）



※ 北千住駅には、東京駅から 15 分、上野駅から 9 分、渋谷駅から 36 分、新宿駅から 29 分、池袋駅から 23 分が目安となります。

※ 東京電機大学 HP アクセス https://www.dendai.ac.jp/access/tokyo_senju.html